

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	みどり公園課長 秋山崇	
都景-15	緑地維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	みどり公園課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(1) みどり	施策の方針	3-(1)-②都市公園の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	防災等に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。
効果	より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

2 令和4年(2022年)度実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。</li> <li>・予算を増額要求して危険木の伐採作業を実施した。</li> <li>・大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。</li> </ul>
---

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	緑地維持管理事業	緑地維持管理委託料、賠償補償保険等保険料	伐採、枝払い等の要望件数に対する達成率(%)	34.7 / 100 73,245 / 88984	100 93,114	34.70%	
02	落石対策等実施事業	緑地維持管理工事請負費、維持修繕費	-	- / - 7877 / 16511	- 15,426		
03	常盤山管理棟維持管理事業	光熱水費、電信料、警備委託料	-	- / - 168 / 210	- 230		
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	3300 / 9,600	9,600		
			その他特定財源	/			
			一般財源	77,990 / 96,105	99,170		
			<b>事業費の合計(千円)</b>	<b>81,290 / 105,705</b>	<b>108,770</b>		
			<b>人件費(千円)</b>	<b>15,842</b>	<b>17,795</b>		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.0	1.4	2.0	2.2		
会計年度任用職員	0.0	0.5	0.5	0.5		

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	緑地維持管理事業	家屋等に損害を及ぼす恐れのある危険な樹木は市民の日常生活に支障となるため。	家屋等の近くに生育する支障木の枝下し等を行うことで、樹林地の良好な生育をはかり、都市環境の保全に寄与している。	近年、台風等の災害が大規模となる傾向を受け、防災対策の視点にたった樹木剪定等を迅速に行う必要性が増しており、財政面を含めた体制づくりが課題となっている。
02	落石対策等実施事業	-	-	-
03	常盤山管理棟維持管理事業	-	-	-
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある
協働		協働実施済の場合のパートナー	

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
近年、台風等の災害が大規模となる傾向を受け、防災対策の視点にたった樹木剪定等を迅速に行う必要性が増していることから、財政面を含めた体制づくりが課題となっている。	

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	伐採、枝払い等の要望件数に対する達成率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
家屋等に損害を及ぼす恐れのある危険な樹木は市民の日常生活に支障となるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	49.9	76.7	34.7				
	達成率	49.9%	76.7%	34.7%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--